

25年12月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査1

1. 調査実施期間 平成25年 11月20日～ 12月10日

2. 調査実施方法

全国の構造用集成材工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
12月分の回答企業数は8社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) ラミナ荷動き動向 Weight. D. I.

品目		25/12月	26/1月	2月
入荷動向	国産材	8.3	8.3	20.0
	外材	8.3	8.3	16.7
在庫動向	国産材	△ 58.3	△ 41.7	△ 41.7
	外材	△ 16.7	△ 8.3	0.0

ラミナの入荷は国産材及び外材ともやや増加傾向で推移。
在庫は国産材は減少傾向で推移、外材は1,2月のやや減少が2月には横ばいに。

(2) ラミナ購入価格動向 Weight. D. I.

品目	25/12月	26/1月	2月
国産材	57.1	57.1	28.6
欧州材	28.6	28.6	14.3
その他	0.0	0.0	0.0

ラミナ価格は国産材及び外材とも強含みないし強保合で推移、その他は横ばいで推移。

モニターからのコメント

(ラミナ荷動き)

・北海道産カラマツラミナの入荷は12月中旬以降ある程度は回復すると見込む、在庫は8月以降ラミナの発注量に対し70～80%の入荷のため毎月減少している。・外材ラミナは契約通りの入荷。正常在庫。・国産材ラミナ入荷は1月から雪の影響で減少の見込み。・国産材は単価上げて入荷数量確保、出荷は少し増加。

(ラミナ価格動向)

・カラマツラミナは11月以降で約10%上昇、1月以降も価格上昇傾向で推移すると見込む。・欧州材ラミナ高値続く。・国産材ラミナは数ヶ月続いて値上がり、欧州材はユーロ高で価格上昇。・国産材は来年1月もう一段の値上げありそう。

25年12月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査2

(3) 構造用集成材荷動き動向 Weight. D. I.

品目		25/12月	26/1月	2月
生産動向	国産材	50.0	16.7	25.0
	WW集成管柱	12.5	0.0	12.5
	RW集成平角	16.7	25.0	0.0
	米マツ集成平角	0.0	0.0	0.0
	WW集成平角	—	—	—
出荷動向	国産材	21.4	△ 7.1	△ 7.1
	WW集成管柱	12.5	0.0	12.5
	RW集成平角	16.7	16.7	△ 8.3
	米マツ集成平角	0.0	△ 25.0	△ 25.0
	WW集成平角	—	—	—

国産材の生産動向は増加傾向で推移、WW管柱は12月のやや増加から1月の横ばいを経て2月にはやや増加に、RW平角は12、1月の増加が2月には横ばいに、米マツ平角は横ばいで推移。国産材の出荷動向は12月のやや増加から1、2月はやや減少に、WW管柱は12月のやや増が1月の横ばいを経て2月はやや増加に、RW平角は12、1月のやや増加が2月はやや減少に、米マツ平角は12月の横ばいが1、2月はやや減少に。

(4) 構造用集成材出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	25/12月	26/1月	2月
スギ集成管柱	0.0	16.7	0.0
ヒノキ集成柱	50.0	25.0	0.0
ヒノキ集成土台	33.3	16.7	0.0
カラマツ集成土台	0.0	50.0	50.0
WW集成管柱	△ 12.5	0.0	12.5
RW集成平角	8.3	25.0	41.7
米マツ集成平角	0.0	0.0	0.0
WW集成平角	0.0	0.0	0.0
米ヒバ土台角	—	—	—
カラマツ集成平角	0.0	100.0	50.0

スギ管柱の価格は12月の横ばいから1月のやや上昇を経て2月は横ばいに、ヒノキ柱、土台は12、1月の強含みないし強保合が2月には横ばいに、カラマツ土台、平角は12月の横ばいが1、2月は強含みに、WW管柱は12月の小さなマイナスが2月に向けてやや上昇に、RW平角は強含みないし強保合で推移、米マツ平角及びWW平角は横ばいで推移。

モニターからのコメント

(構造用集成材荷動き)

・消費税の駆け込みや、木材利用ポイントなど需要は引き続き旺盛だが、原料不足が原因で生産効率が低下するなど生産量に影響している。出荷は需要旺盛だが、原料不足で生産が限定され納期の遅延が慢性化、出荷が一部滞るなどの影響が出ている。受注残の消化が進まず商品によっては1ヶ月以上の納期となっている。・RW集成平角は通年の生産量と同じ。RW集成平角は注引量増加し荷動きも増加。・生産、出荷は、為替が同じなら国産材使用が増加。

(構造用集成材出荷価格動向)

・カラマツ・スギ共に原木不足から原料価格の上昇を招き、一部逆ザヤが発生、競争商品の市況も気になるが原料値上げが急激で耐え切れず、1月からは値上げを打ち出す。以降は原材料がどれだけ強含むかによるが、これ以上の製品価格上昇は国産材離れを加速させるものと危惧する。・RW集成平角は価格下げ止まり、前月と同値。・RWは値上がり傾向、国産材は高止まり。・外材は来春少し上がると思うが国産材は価格競争上横ばいとならざるを得ないのではないかと。ハウスメーカーは単価が外材より高井と採用しない傾向がある。土台については需給バランス崩れており若干値上げ可能ではないか。